



幸せな暮らしは にぎわいを創出

渡辺氏(前総長)が講演

市合併10周年記念

水沢、江刺、前沢、胆沢、衣川の旧5市町村合併から丸10年を迎えた20日、市が2ホールで開いた10周年記念式典で、拓殖大学前総長の渡辺利夫氏(79)が記念講演を行った。

まちづくりに関して奥州市にアドバイスを送る拓殖大学前総長の渡辺利夫氏

まちづくりに関して渡辺氏は、「住民が幸せに暮らす姿が人を集め、人のにぎわいをつくり出す」と強調。その上で「住民がまことに住む意味をそのまちの物語性の中に求めるべきだ」と提言した。

渡辺氏はまた、「住民が地域への愛着を持つためには物語性が必要。歴史や文化の物語

性を自覚すれば住民の誇りを沸き起こし、その誇りが外の人たちを引き寄せる大きな力になる」とも指摘。その上で「日本の近代史を眺めるだけでも奥州市には高野長英や後藤新平、斎藤實ら偉大な人物がいる。近代史がその地域から発信された

と、言ってもいいぐらいで、これを物語性に仕上げて発信していくべきだ」とも助言した。渡辺氏はこの日、「フロンティア開発の人・後藤新平の言葉」と題して講演。水沢出身の政治家で、拓殖大第3代学長を務めた新平の足跡も振り返った。